

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 小規模多機能ホーム ハッピーハウス
施設種類： 小規模多機能型居宅介護

日時： 令和 7 年 4 月 1 5 日 (火) 午前 1 0 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分
会場： 出雲市東部健康交流館 うるおいの郷

出席者
(人数)

利用者、家族	人	高齢者あんしん支援 センター職員	1 人
地域住民の代表	5 人	出雲市職員	1 人
その他 (施設役員、管理者)			3 人

(議題)

1. 登録実績と利用状況
2. 職員体制
3. 行事・レクリエーション報告
4. その他

(報告事項)

1. 登録実績と利用状況について
年齢、性別、介護度、家族状況、生活圏、月毎にサービス
利用状況を報告。状態の変化に伴う援助内容の報告。
【別紙、サービス提供状況報告書を配布】
2. 職員体制
職員の体制変更なし。昨年末より介護職員初任者研修過程
受講中の 2 名が 3 月末で修了し資格取得しました。
3. 行事・レクリエーション報告
今月回覧のお便りを見て頂きながら状況の説明をしました。
3 月 3 日のひな祭り玉入れ大会はお内裏様やお雛様、三人
官女や五人囃子の箱をねらって玉入れをする対抗戦です。
紅白に分かれて得点が入る度に歓声が聞かれました。
6 日には上津幼稚園児の皆さんが来所され歌や踊りを披露
して下さり優しい笑顔で見つめ涙された方もありました。
4 月桜の花見に出掛けたり、久しぶりに来て下さった今市
踊りの会の皆さんの艶やかな歌や踊りを楽しみました。

4. その他

令和7年度第Ⅰ回「虐待防止検討委員会身体拘束適正化委員会」の開催について議事録の確認、報告をしました。

今後の取り組みについては、引き続き毎月の職員会において虐待防止及び身体拘束廃止の対策について項目を設け、虐待の兆候の検証、身体拘束の3要件の該当状況を個別具体的に検討していく。

【地域から】

*サービス提供の状況報告の内容について、アルツハイマー型認知症の利用者で家族も困っている状態であるのに要介護1と聞いて驚いている。認知症があれば要介護3とかになるものかと思っていた。サービスに沿った介護度への見直しなどはどうするのか。

⇒見直しが必要な場合には変更申請を家族やケアマネからも行える。

[行政より]

在宅サービスにおいて要介護1の利用者が通所介護を利用出来る範囲は週3回程度。しかしその範囲に認知症の利用者が納まる事が難しく月額報酬の小多機へ移行するケースがあると思われる。介護度は介護量などの手間の時間なので身体機能や精神状況で一概に決まらない。だから小多機は大変で難しいと思われる。